

NEC

ETOSJX for シフトJIS V7.0

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは、ETOSJX for シフトJIS V7.0(以下「ETOSJX」と省略します)をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げいただいたソフトウェアのセットアップおよびアンインストールの方法を中心に構成されています。ETOSJXをお使いになる前に、必ずお読み下さい。

なお、システムを構築するにあたってはETOSJXのマニュアルが必要となります。ETOSJXのマニュアルは、『ETOSJX for シフトJIS V7.0』のパッケージに含まれるCD-ROMに格納されています。

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

- Microsoft、Windows、Windows Server、Visual C++、Visual Studioは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に登場する製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

目次

1章	ご利用になる前に.....	4
1.1.	ランタイムライブラリの登録.....	5
1.2.	入力文字をJIS90範囲内に制限する.....	6
1.3.	アプリケーション毎に入力方式を設定する.....	8
1.4.	通常使うプリンターを固定する.....	10
2章	動作環境.....	11
3章	セットアップ.....	12
4章	アンインストール.....	12
5章	注意・制限事項.....	12

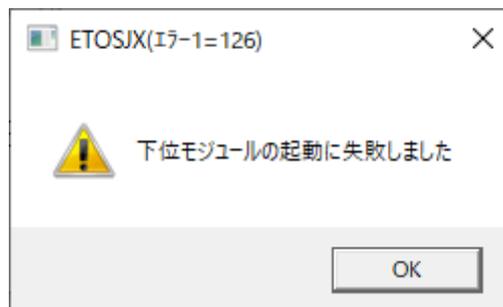
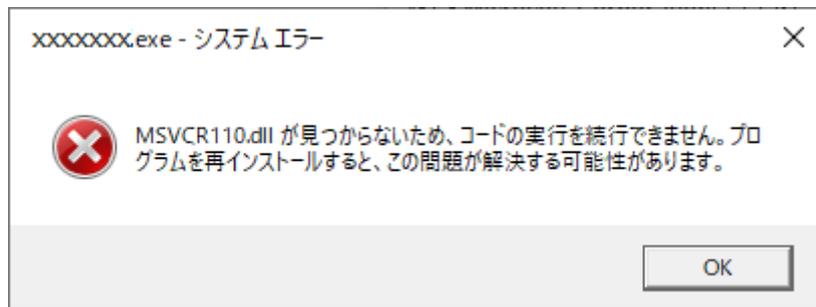
1章 ご利用になる前に

ETOSJXのご利用にあたっては、以下の点にご注意ください。

1. 本製品では、運用形態としてスタンドアロン形態とETOS通信GW接続形態のいずれかを選択できます。
 - (a) スタンドアロン形態
従来のETOSJX for シフトJISと同じ運用形態です。
詳細は、「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」を参照してください。
 - (b) ETOS通信GW接続形態
従来のETOSWEB SERVERに相当する運用形態です。ETOS通信GWサーバを経由してホストに接続します。
詳細は、「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」を参照してください。
2. インストールを行う場合は、必ずSETUP.EXEを起動してください。
3. ETOSJXのソフトウェアが起動しない場合は、ランタイムライブラリをインストールしてください。
詳細は、「1.1 ランタイムライブラリの登録」を参照してください。
4. IMEからの入力文字をJIS90の範囲に制限する必要があります。
設定方法は、「1.2 入力文字をJIS90範囲内に制限する」を参照してください。
5. Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows 10では、すべてのアプリケーションでIMEの入力状態が共有されるため、ETOSJXで行ったIMEの入力状態変更が、他のアプリケーションにも影響します(その逆も同様です)。
ETOSJXによるIMEの自動制御が不要な場合は、ETOSJX-PGのメニュー[拡張パラメータ] - [入力モード指定]で、「IME制御」チェックボックスのチェックを外してください。
なお、Windowsの設定を変更することで、Windows 7以前と同様、アプリケーション毎にIMEの入力状態を保持できるようになります。
設定方法は、「1.3 アプリケーション毎に入力方式を設定する」を参照してください。
6. プリンキング表示を行ったとき、文字枠が残る場合があります。
Windowsの以下のいずれかの設定を変更してください。
 - ① 「システムのプロパティ」の「詳細設定」タブで「パフォーマンス」の[設定]ボタンを押し、「パフォーマンスオプション」の「視覚効果」タブで「スクリーンフォントの縁を滑らかにする」チェックボックスのチェックをはずしてオフにする。
 - ② 「コントロールパネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「フォント」の「ClearTypeテキストの調整」を選択し、「ClearTypeテキストチューナー」で「ClearTypeを有効にする」チェックボックスのチェックをはずしてオフにする。
7. Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows 10では、「通常使うプリンター」が自動的に最後に使用したプリンタに変更される場合があります。Windowsの設定を変更することにより、「通常使うプリンター」を固定にすることが可能ですので、指定して印刷を行う場合は、設定を変更してください。設定方法は、「1.4 通常使うプリンターを固定する」を参照してください。

1.1. ランタイムライブラリの登録

ETOSJXのソフトウェアを起動した際、以下のようなエラーメッセージが表示される場合があります。



これらのエラーメッセージが表示される場合は、以下のランタイムライブラリをインストールしてください。

Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2012

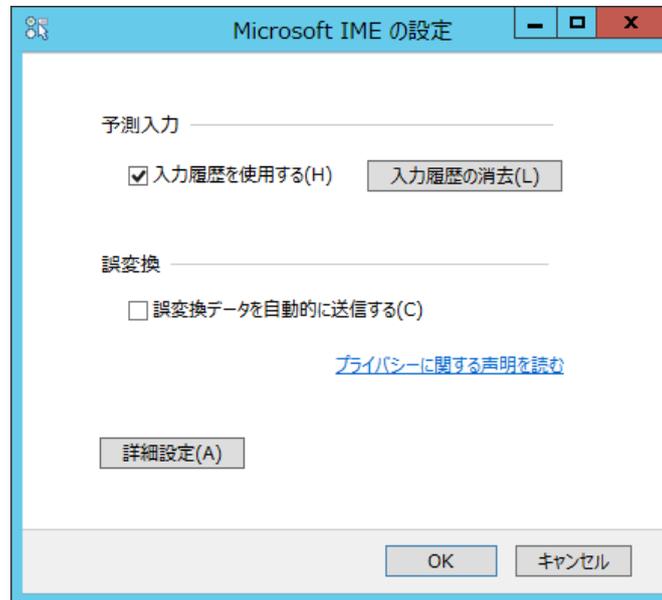
※ランタイムライブラリは、ETOSJX CD-ROMに格納されています
(¥vcredist_x86¥vcredist_x86.exe)。

または、Microsoft社のホームページから最新版をダウンロードしてください。

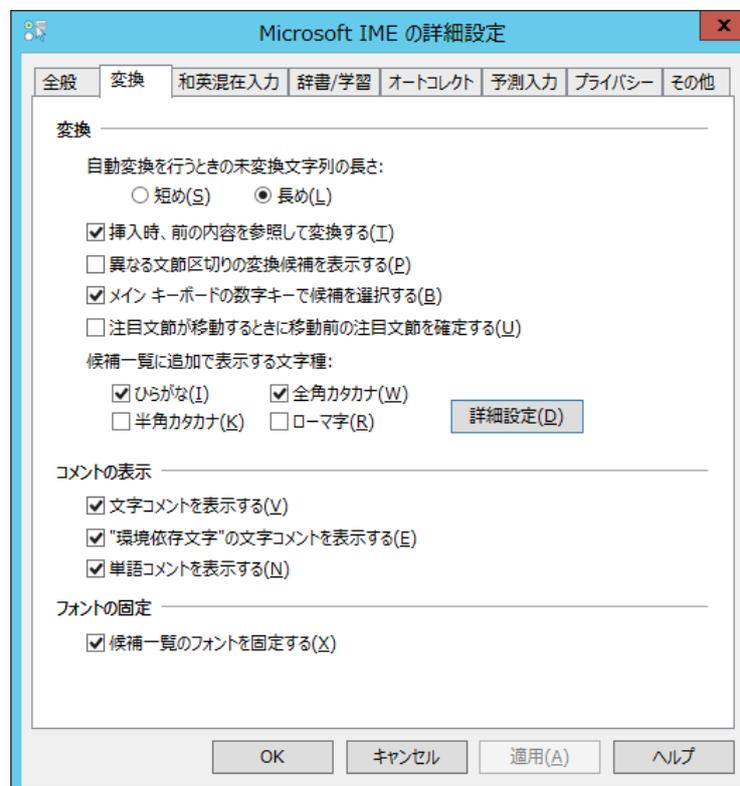
1.2. 入力文字をJIS90範囲内に制限する

以下の手順でIMEからJIS90範囲外の文字を入力できないようにしてください。

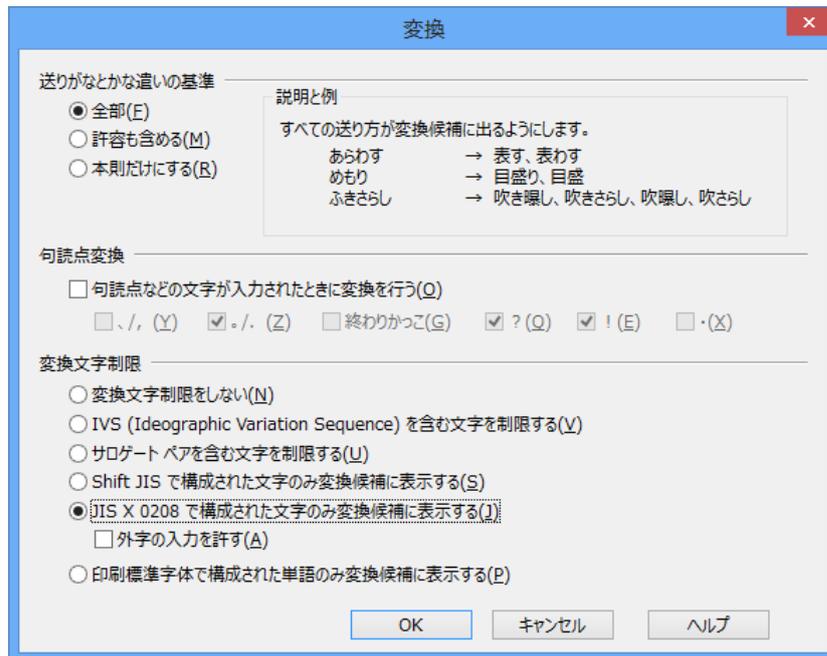
- (1) Microsoft IME のプロパティを表示する。
※以下の画面が表示された場合は、[詳細設定] ボタンを押す。



- (2) 「候補一覧に追加で表示する文字種」の[詳細設定] ボタンを押す。



- (3) 「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみを変換候補に表示する(J)」チェックボックスにチェックを入れてオンにする。



- (4) 「OK」ボタンを押して設定を完了する。

1.3. アプリケーション毎に入力方式を設定する

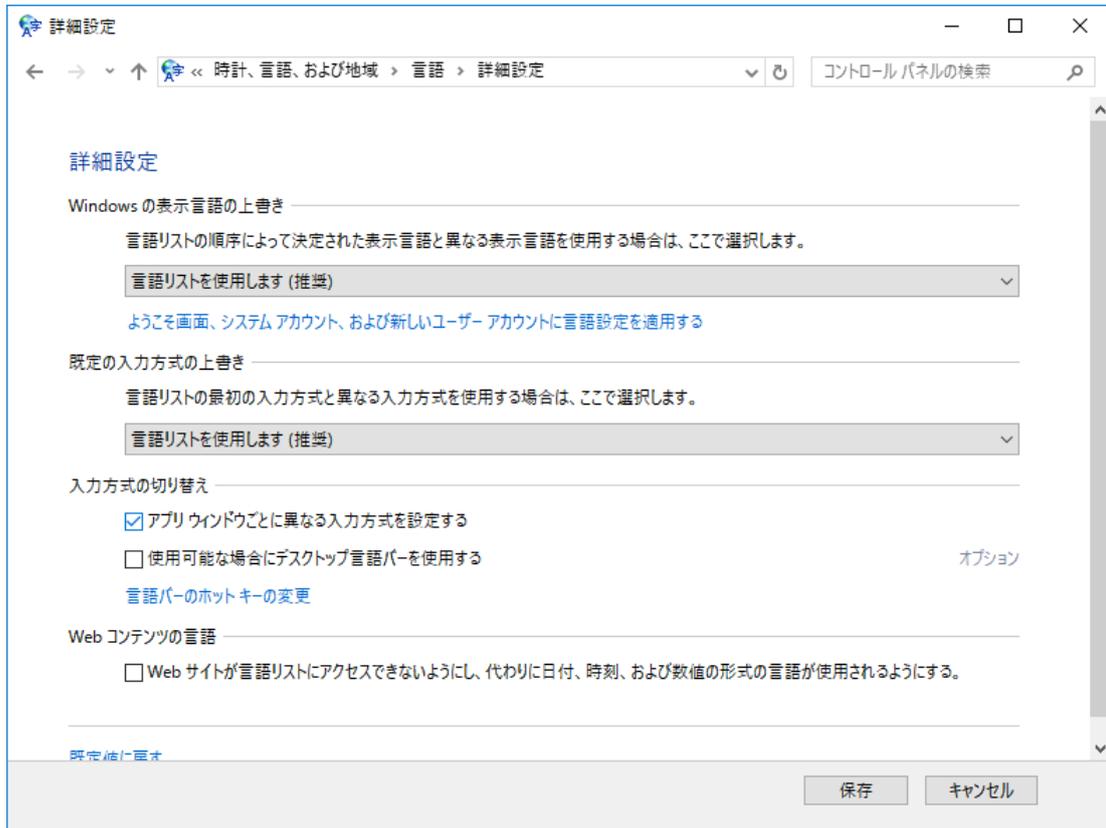
1. Windows Server 2019 / Windows 10の場合

- (1) スタートメニューから「設定」を選択して設定画面を開く。
- (2) 「デバイス」を選択する。
- (3) 左側メニューから「入力」を選択する。
- (4) 「その他のキーボード設定」の「キーボードの詳細設定」を選択する。
- (5) 「入力方式の切り替え」の「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」チェックボックスにチェックを入れてオンにする。



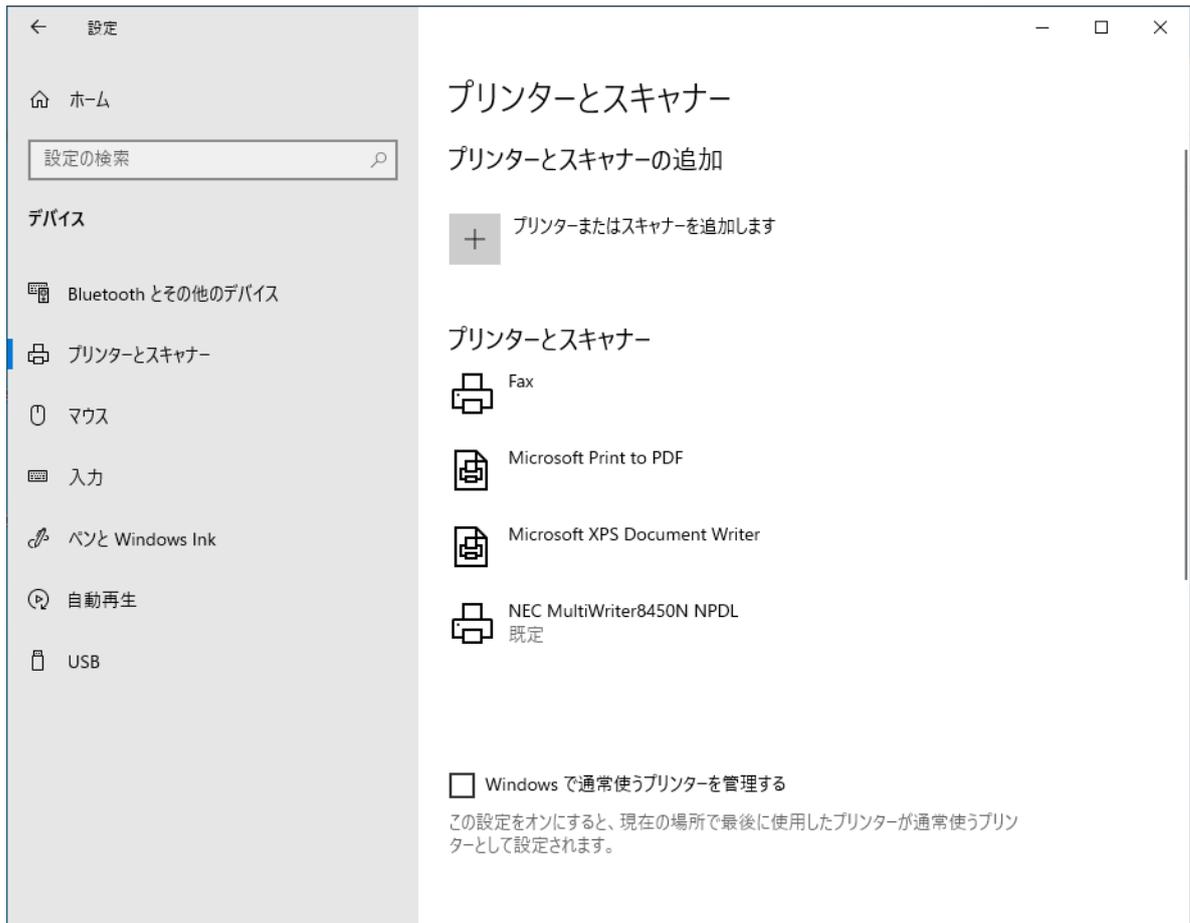
2. Windows Server 2016の場合

- (1) コントロールパネルを開き、「時計、言語、および地域」－「言語」を選択する。
- (2) 左側メニューから「詳細設定」を選択する。
- (3) 「入力方式の切り替え」の「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」チェックボックスにチェックを入れてオンにする。



1.4. 通常使うプリンターを固定する

- (1) スタートメニューから「設定」を選択して設定画面を開く。
- (2) 「デバイス」を選択する。
- (3) 左側メニュー「プリンターとスキャナー」を選択する。
- (4) 「Windows で通常使うプリンターを管理する」を「オフ」に設定する。



2章 動作環境

ETOSJXをセットアップするには、以下の環境が必要です。詳細については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」または「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」を参照してください。

(1) スタンドアロン形態

OS	Windows 10 Pro バージョン1903 Windows 10 Pro バージョン1909 Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard
メモリ	12MB
ハードディスク	10MB

(2) ETOS通信GW接続形態

①サーバ環境

OS	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard
メモリ	12MB
ハードディスク	12MB

②クライアント環境

OS	Windows 10 Pro バージョン1903 Windows 10 Pro バージョン1909
メモリ	12MB
ハードディスク	10MB

※上記以外のOS上での動作は保証していません。

※Windows Server 2016 / Windows Server 2019 のServer Core、Nano ServerおよびTerminal Service環境での動作は保証していません。

※Windows 10 タブレットモードでの動作は保証していません。

※仮想環境、ターミナルサービスクライアント環境、リモートデスクトップ等での動作は保証していません。

※Windowsのバージョン情報は、コマンドプロンプトで「winver」を実行して確認してください。

3章 セットアップ

ETOSJXのソフトウェアのセットアップ方法については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」または「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」を参照してください。

4章 アンインストール

ETOSJXのソフトウェアのアンインストール方法については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」または「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」を参照してください。

5章 注意・制限事項

ETOSJXの注意・制限事項については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」または「ETOSJX for シフトJIS V7.0 導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」も参照してください。

1. Windows 10(x64)でN5200系コード印刷の障害通知機能を使用する場合は、製品同梱の「ETOSJX向けWindows64bitOS用プリンタドライバ」を別途インストールする必要があります。
2. N5200系コード印刷の障害通知機能を使用する場合、ETOSJX専用プリンタ登録が必要です。詳細は、**導入ガイド「ETOSJX専用プリンタ登録」**を参照してください。